

愛媛県がん診療連携協議会 がん相談支援専門部会
令和5年度 がん相談支援センター活動のPDCAチェックリストに関する報告書

令和6年1月4日
がん相談支援専門部会
チェックリストWG

I. 目的

がん相談支援センター活動のPDCAサイクルを確保し、県内全体のがん相談支援の機能強化と質向上を目指す

II. 令和5年度の活動目標

1. グーグルフォームでの入力・集計のフォームを使用し、各病院で評価する。
2. チェックリストの全体評価は3年毎に実施し、全体評価を実施しない年度は、重点的に取り組んだ方が良いと思われる項目をワーキングより提案し、専門部会で承認を受けた項目のみ評価する。
3. 今年度の重点項目
「院内スタッフへの周知体制・診断早期の患者にセンターに立ち寄ってもらう仕組みづくり」
(チェックリスト項目 1-1-1・2・4 2-1)のみ、各拠点・推進病院で評価した内容をまとめ、県内の現状を把握し昨年度との比較から、課題を明らかにし次年度活動に活かす。

III. 方法・スケジュール

令和5年 11月末 各施設でチェックリスト評価の実施

令和5年 12月チェックリスト評価の集計および意見・感想のまとめ

令和6年 1月チェックリストWGで課題の抽出 報告書作成

IV. 結果と分析内容（詳細は資料参照）

例年通りPDCAサイクルの確保のため、全病院が28項目の評価を行った。専門部会では令和5年度の重点項目「院内スタッフへの周知体制・診断早期の患者にセンターに立ち寄ってもらう仕組みづくり（チェックリスト項目1-1-1・2・4、2-1）」の4項目を中心に、さらに新型コロナウイルス感染症5類移行に伴い、活動が再開されつつあるがんサロンの活動や、対面開催を再開したがん相談員研修会について評価を行った。

1. **1-1-1** センターのわかりやすい掲示

すべての病院が取り組んだ。

2. **1-1-2** 診断初期からのセンターが案内される体制作り

整備指針改定に伴い、すべての拠点病院と推進病院2病院が体制整備に取り組んだ。その方法は様々であり、方法および効果を情報共有しながら各病院の特性に応じて実施方法を工夫していく必要がある。

3. **1-1-4** センターの役割の院内周知

すべての拠点病院と推進病院3病院が院内周知に取り組んだ。院内 e-learning の配信やカンファレンス・研修会等の場が活用されていた。1-1-2 同様、効果も含めて情報共有し、継続した取り組みが必要である。

4. **2-1** 提供する情報の精査と正確な情報の提供

すべての病院が取り組み、2022 年度に改定されたがんサポートブックえひめを活用した。

5. **1-1-6,7,8** がんサロンの開催および広報活動

すべての拠点病院と推進病院2病院がサロン活動に取り組み、複数の推進病院が検討中である。コロナの5類移行に伴い、活動が再開されている。2022 年度よりサロン担当者交流会にて各病院の工夫が情報交換でき、活動再開につながっていると思われる。

6. **1-2-2** 愛媛県がん相談員研修会への参加

すべての拠点病院と推進病院4病院が研修会に参加した。対面での交流が可能となった。今年度は QA 研修を取り上げたが、相談対応のモニタリングの実施は拠点病院3病院、マニュアル作成・更新は拠点病院6病院と推進病院2病院である。相談対応の質向上につながるよう、研修内容を工夫し、また愛媛県がん相談員研修会への参加を促進することが必要である。

7. その他

- 1) 相談者からのフィードバックを得る体制について、部会内で検討を重ね、すべての拠点病院で取り組むことができた。
- 2) 出張相談および地域のイベント参加について、住友別子病院の声かけにより専門部会として「健康フェスタ in にいはま」に参加できた。コロナの5類移行に伴い地域開催イベントが増加すると思われる、積極的に専門部会として協力する。

V. 活動全体の評価

評価予定であった項目は各病院が積極的に活動取り組むことができた。また、サロン、フィードバック体制、出張相談など、部会として取り組んだ活動も、各病院の成果につながった。

VI. 専門部会の課題

第4期がん対策推進計画にも「がんとの共生」の分野目標に情報支援が掲げられており相談支援における情報提供、地域との連携への取り組みが重要事項と考えられており、以下の点について今後専門部会として取り組みたいと提案する。

1. 診断初期からのがん相談支援センターの案内および院内スタッフへの周知を継続する。拠点病院は引き続き取り組むとともに、推進病院においても取り組んで行けるように、部会にてその工夫や成果を共有する。
2. 相談支援の質向上につながるよう、愛媛県がん相談員研修会に繰り返し参加することを促進する。
3. 各病院の実情に応じて相談対応のモニタリングに取り組めるよう、QA 研修を工夫しながら継続する。
4. がんサロンや出張相談等について、各病院からの情報発信を促し、協力して取り組む。